

四季報

事務所協会県北支部青年部活動 NEWS

～ 増刊号 ～ 2011年1月

発行/(社)福島県建築士事務所協会県北支部青年部 広報・渉外委員会
HP/ <http://www.sekkei-f.jp/seinen/index.htm>
所在地/〒960-806 福島市五月町4-25 福島県建設センター5階
TEL (024) 521-4033 FAX (024) 521-5087

(社)福島県建築士事務所協会 県北支部 青年部 主催

◆実務者レベルの技術研修会

■福島県鉄構工業組合青年部との技術交流『技術研修会』

平成 22年 8月 27日(金)、福島県鉄構工業組合青年部から代表の皆様をお招きし、技術交流と親睦を目的とした『技術研修会』を開催しました。耐震補強鉄骨ブレースについて設計時点で溶接基準や材質明記が不明確な場合がある等の事例を挙げた意見に対して、既存建築物の現況に適応した補強が求められる耐震補強設計に対して鉄構工業界の理解と協力が不可欠である等の活発な意見交換が成されました。

又、準会員の田村建材株式会社・株式会社ホクショーからは耐震ブレースや制震システム等の新しい工法説明が行われ、需要の高い耐震設計の技術分野について有意義な技術研修となりました。

■財団法人ふくしま建築住宅センターとの『意見交換会』

平成 22年 10月 8日(金)、ふくしま建築住宅センターの寄附行為についてご説明いただいた後、日頃実務者レベルで感じられている意見や要望について活発な意見交換が成されました。

『確認、検査に対する要望』『住宅センターとの共同事業』『県内事務所、建設業者に対する優遇措置』『まちづくりに対する役割の強化』『行政機関との連携仲介役』『一般市民への認知 UP』等の展望について意見交換の結果、よりよいまちづくりや安心・安全な建築物を提供できる業界づくりの為に今回のような意見交換会は重要であり、単発で終わらせないで継続してお互いの発展と資質の向上につなげていこうとの意思疎通を踏む事ができました。

◆研修旅行 山形県山形市七日町方面

平成 22年 11月 6日(土)、山形市七日町方面への研修旅行を開催し、約 20名の参加となりました。山形市では歴史的・文化的な建物をいかした街づくりが行われており、今回、街づくり研修としまして、3つの施設の視察を行いましたので、現地で撮影した写真とともに、視察した施設を紹介したいと思います。

■山形まるごと館『紅の蔵』

江戸後期より紅花貿易商人として栄えた長谷川家の母屋を中心とした蔵5棟を、地域ブランド発信と中心市街地活性化の場として山形市が整備した施設です。施設は地域特産を盛り込んだ洋食部門とそば・郷土料理部門の2店舗と、物販部門・産直販売部門・地域・観光情報部門の5つの部門で構成されています。

歴史的背景のある意匠デザインとし、紅・おはぐろ(炭)・おしろい(漆喰)から赤・黒・白の3色を基調とした建物です。



■山形まなび館

山形市立第一小学校旧校舎を耐震補強、改修して再活用している施設です。昭和2年と極めて早い時期に建設された鉄筋コンクリート造の建物で、登録文化財として国から認定を受けています。

現在は、山形市の教育資料・文化財の展示、又、多目的ルームとして使用されており、近隣住民のコミュニティの場として利用されています。



正面



外観



内部通路



観光案内

■七日町御殿堰

御殿堰は山形の町を網目状に流れる山形五堰の一つで、400年の歴史があります。山形五堰の起りは、水害対策として川の流路を変更するとともに、生活用水、灌漑用水として城下に引き込んだものといわれています。

戦後、山形市の発展に伴って、中心部を流れる堰の多くは、転落の危険性、道路幅員の確保などの理由より、蓋がされ暗渠となっていますが、その堰を、蘇らせまちづくりに役立てようという計画が山形市の中心市街地活性化の基本計画に取り上げられ開発がすすめられた施設です。



◆県北支部忘年会

平成 22年 12月 22日(土)、ラウンドワン福島にて青年部ボーリング大会が開催されました。当日は、年末で忙しい中17名もの参加者がおり河野部会長の始球式のストライクを皮切りにストライク・スペアが続発したレベルの高い大会となりました。

ボーリング大会終了後には、市内の飲食店にて忘年会が開催され、ボーリング大会の表彰式や平成 22年度に青年部で開催した事業などの中間報告会も行いました。

通常の例会とは違い勉強抜きでの交流会でしたので皆さん十分に親睦を深める事ができたと思います。

